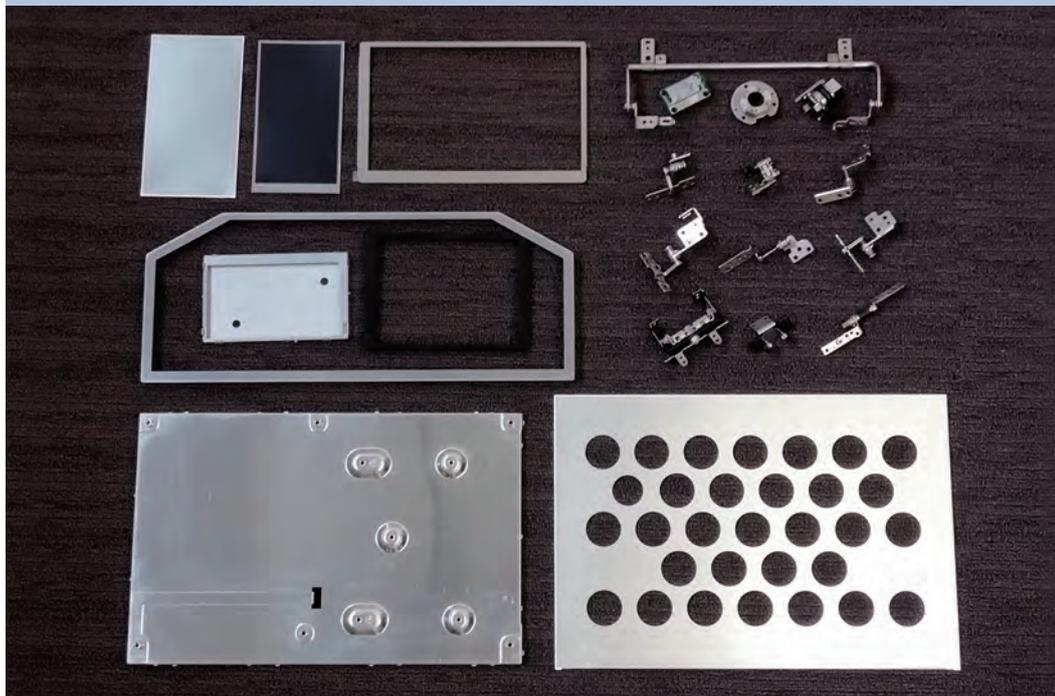


高品質の精密加工で 多方面へのアプローチを目指す

海外
 発注可
 企画力
 自信有
 オンリー
 ワン技術
 量産
 対応



精密プレス・高機能ヒンジ部品

業務内容
 プレス部品やヒンジなど
 一貫生産体制で展開

カーナビゲーションやスマートフォンなどの液晶画面に付ける金属プレス部品と、ノートパソコンなどの開閉部に使われるヒンジを主に製造・販売している。プレス事業では平成30年より成形機を導入してインサート成形部品の内製化を図り、高付加価値製品の供給を行っている。ヒンジ事業では、26にもおよぶ部品構成で360度可動する高機能な「360.平行二軸ヒンジ」を主力とし、特許も取得している。デジタルカメラなど、ディスプレイを開けてからスライドさせる複雑な動きが可能だ。長年、大手メーカーと直接取引を行っており、顧客から厚い信頼を得ている。

強み
 耐久性と精度を高め
 清潔な環境で製造

「液晶はゴミ（パーティクル）を嫌う業界」と田中晴通社長は語る。目に見えないマイクロメートル単位の塵やほこりでも、液晶部分に入り込んでしまうと製品にならないというシビアな世界だ。同社では金属プレス加工業界の中でいち早くクラス10,000のクリーンルームを設置した。最終的な仕上げや2次加工まで行うことにより、顧客からも好評を得ている。

また、同社のヒンジ製品では10万回の開閉を可能にする耐久性を誇り、プレス製品では0.05mmの薄板による精密加工が得意だ。「高精度のものを突き詰めて作っている」との思いが製品に表れている。

備充実
 中国のマザー工場
 自動化や設備投資を促進

平成16年からは中国に自社工場を設立。

江蘇省蘇州市と広東省東莞市の2工場では総勢700名の人員を擁して製造を行ってきたが、中国における人件費の高騰にともない3年ほど前から本格的に自動化へ取り組んでいる。プレス機だけでなくプレス周辺の2次加工まで自動化を進め、生産効率を30%~40%上昇させた。今後もさらなる設備投資を積極的に進めていく。

また、自動車産業が必要とする要求事項を付加した認証規格のIATF16949を取得するほか、日本製の工作機械を使用している。高品質を実現している。

後の展望
 多様な新規開拓目指し
 需要の可能性を探る

ドイツのメーカーに対し、平成31年1月からは工作用ロボットのアーム先端に取り付けるチャックの納品を開始した。軌道に乗れば切削関係の機材を導入し、内製化を目指していく予定だ。

東京や名古屋など日本の展示会だけでなく、海外の展示会にも積極的に出展することで、他分野も見据えた新規顧客の開拓にも注力していく。次世代のディスプレイとして注目されている、有機EL部品への取り組みにも積極的だ。現在ではM&A合併・買収も視野に入れており、国内でも新たな製造工場の建設を計画している。



クリーンルーム



展示会出展の様子

当社の歴史



昭和8年に大阪市浪速区で創業し、平成30年で創業85周年を迎えました。長年の経営基盤の中で培われた技術や品質保証体制で、100年企業を目指して展開していきます。お客様のニーズや技術課題をクリアしていくことに注力して取り組んでいます。

代表取締役社長 田中 晴通さん

<http://www.shikata-k.co.jp/>

主な事業内容

プレス・ヒンジ・成形・組立品の製造・販売

主な取引先(納入先)

国内外大手エレクトロニクス機器メーカー、大手電気メーカー

- 住 所 〒545-0001
 大阪市阿倍野区
 天王寺町北3-6-22
- TEL 06-6714-5171
- FAX 06-6714-0341
- 創業 昭和8年6月
- 設立 昭和29年4月
- 資本金 1,600万円
- 従業員 13名

大阪30 ISO 9001
 大阪30 ISO 14001